

第1問 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

著作権の都合上、
この部分をご覧いただけません。

〔宮崎裕助 「情報過多の現代で 「勇気を持って判断する」にはどうすれば…? カントが教えてくれること 』21世紀の必読哲学 書』『学術文庫&選書メチエ』講談社 2023年2月11日〕

問一

「A」～「F」の箇所当てはまる文もしくは文章をそれぞれ次の中から選び、その番号を記せ。

- (1) 適切な判断を下すには知識と経験が必要だ。
- (2) 日々私たちは判断している。
- (3) たしかに「判断疲れ」や「判断麻痺」は現代人特有の症状だと言えるだろう。
- (4) そもそも誰に聞けばよいのか、どこを調べればよいか分からないこともある。
- (5) 判断疲れ、判断麻痺に陥っているのが私たちの社会なのである。
- (6) しかし私たちに、いかにその知識を選別し、いま・ここにある一回ごとの状況に適用すればよいのか、肝心の知識や法則を用いる仕方そのものについての判断は与えられていない。

問二

カントの『判断力批判』が、現代の私たちの日々の生活にかかわる問題に関連していると著者が考えるのはなぜか。百六十字以上、百八十字以内で説明せよ。

問三

二重傍線ア「それでも問題は収まらない。」とあるが、著者がそう考えるのはなぜか。八十字以上、百字以内で説明せよ。

問四

- 次の各文について、文中より読み取れるものに○、読み取れないものに×をつけよ。
- (1) 現代社会では、知識が十分にあるにもかかわらず、適切な判断を下すのが難しいことが多い。
 - (2) 「反省的判断力」は、あらかじめ決まった法則や知識を前提にして判断を下す能力である。
 - (3) 私たちの日常の判断は、しばしば習慣に基づいて行われ、迷わずに行えることも多い。
 - (4) 判断が困難な場合、他人に頼ることなくすぐに判断を下すことが求められる。
 - (5) 現代社会の「判断疲れ」や「判断麻痺」は、情報過多や選択肢の多さが原因となっている。
 - (6) 「反省的判断力」は、毎日の判断において常に必要とされる。
 - (7) 「反省的判断力」は、マニュアルや既存の知識に頼らず、個別の状況に基づいて最適な判断を下す能力を指している。
 - (8) 「反省的判断力」は、その判断の正しさを保証するために、十分な情報収集を行うことを前提としている。

問五

傍線①～⑩の片仮名は漢字に、漢字は平仮名にそれぞれ直せ。

国語試験問題は次ページに続く

第2問

次の文章を読んで後の問いに答えよ。

著作権の都合上、
この部分をご覧くださいだけません。

問一 「A」～「F」の箇所当てはまる文もしくは文章をそれぞれ次の中から選び、その番号を記せ。

- (1) ビンさんも共感と共生が人間の本質だと考えており、中国にも古来その考えを持つ思想家たちがいると示してくれた。
- (2) でも、人々はいまだにホップズの説を信じ、戦争は避けられないと思いついでいる。
- (3) ダーウィンの進化論は、なぜ世界にこれほど多様な生物がいるのかという疑問から生まれた。
- (4) 哲学や政治、経済、科学技術、宇宙物理、メディアなどの専門家が顔をそろえた。
- (5) 星学を構想する人たちも人間と社会について根本的に考え直そうと感じているに違いない。

問二 私は、研究所の中国拠点の所長で法哲学が専門のビン・ソンさんと、人間中心主義や科学万能主義について対話した。

問三 二重傍線ア「ひとつは人間の脳は言葉の登場によって大きくなったという誤解だ。」とあるが、人間の脳を大きくしたものはなにか、文中より抜き出せ。

問四 二重傍線イ「暴力や戦いは人間の本性ではないのだ。」とあるが、そのように筆者が推量する理由を本文よりまとめて三十五字以上五十五字以下で書け。

問五 二重傍線ウ「私はつい調子になり、デカルトの「我考える、故に我在り」という説は間違いないのではと口走った。」とあるが、筆者の文中の考えにも最も当てはまるものを一つ選び、その記号を記せ。

- (1) 人間は考えることを止めると、存在価値がなくなる。
- (2) 人間の精神は、物理法則に従う物質であり、客体である。
- (3) 人間は精神だけなく、身体全体を用いて考える。
- (4) 人間は考えることをしなくても存在価値がなくなることはない。
- (5) 人工知能は(AI)は意識や身体を持つべきである。

問六 次の(1)から(5)の文について、文中より読み取れるものに○、読み取れないものに×をつけよ。

- (1) 東洋にはあいまいさを認める心がある。
- (2) ゴリラはけんかをするのがなく、時間をかけても双方の主張を調和させる。
- (3) 言葉を人間が使い始めたは現代人が生まれる前である。
- (4) 定住と所有が暮らしの基本となることは、暴力の理由となる。
- (5) 人間の脳は言葉の登場によって大きくなったという考えは、因果関係が反対である。

問七 傍線①～⑩の片仮名は漢字に、漢字は平仮名にそれぞれ直せ。